

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 11日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 〒590-0526 大阪府泉南市男里5丁目20-1 バンドー化学株式会社 南海工場 氏 名 工場長 青砥 正秀  (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-482-7711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	バンドー化学株式会社 南海工場
事業場の所在地	大阪府泉南市男里5丁目20-1
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	233：ゴム製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：28,377百万円
③従業員数	625人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	排 出 量	4.2 t	996.564 t
	(これまでに実施した取組) 製造部による継続的な不良低減活動への取組み(廃プラスチック類、合成ゴムくず削減) 新ラインおよび新製法導入による不良低減への取組み(廃プラスチック類、合成ゴムくず削減) 照明機器LED化に伴う蛍光灯廃棄物削減への取組み 廃プラスチック類、合成樹脂材廃棄物分別による有償売却先の検討およびその推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	排 出 量	6.72 t	918.11 t
	(今後実施する予定の取組) 製造部による継続的な不良ロス削減課題の推進 新ラインおよび新製法導入による製品不良ロス課題の推進 廃プラスチック類、合成樹脂材廃棄物分別による廃棄物削減および有償物化の推進		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	2025年4月1日～2026年3月31日		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
<b>【前年度（2024年度）実績】</b>			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タイヤ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
523.342 t	97.46 t	357.676 t	2.51 t
<b>【目標】</b>			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タイヤ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
515.39 t	92.25 t	349.85 t	8.89 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）
53.91 t	24.39 t	57.62 t	0 t
【目標】			
④強酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）
1.85 t	47.07 t	68.13 t	49.09 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）	⑫乾電池 （ダイカン） （フロー図E）
3.67 t	0.15 t	0 t	0.1 t
【目標】			
⑨蛍光灯 （フロー図E）	⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）
1.49 t	5.12 t	0.27 t	0.67 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	③廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	③廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)	④廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
8.16 t	11.78 t	15.34 t	0 t
【目標】			
⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)	②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	③廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	③廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)
0.07 t	9.92 t	3.89 t	18.67 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
—	—		
— t	— t	t	t
【目標】			
⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)	—		
7.99 t	— t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用、計画なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	2025年4月1日～2026年 3月31日	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理、計画なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タカ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タカ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タカ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タカ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
【目標】			
④強酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
④強酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）	⑫乾電池 （ダイカン） （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑨蛍光灯 （フロー図E）	⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）	⑫乾電池 （ダイカン） （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑨蛍光灯 （フロー図E）	⑩ガラスくず （ダイカン） （フロー図E）	⑩ガラスくず （三光） （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)	②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)	②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
—	—		
— t	— t	t	— t
【目標】			
④廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)	—		
— t	— t	t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
—	—		
— t	— t	t	t
— t	— t	t	t
【目標】			
④廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)	—		
— t	— t	t	t
— t	— t	t	t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分、計画なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	2025年4月1日～2026年 3月31日	4.2 t	996.564 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	4.2 t	996.564 t
	再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物処理、収集運搬の委託基準を遵守できる産廃処理業者を選定し、年に1回、産廃処理状況の現地監査確認を実施。 定期的に排出物遵法管理システム(電子マニフェスト)にて、産業廃棄物処理処分業許可証、収集運搬業許可証を確認。 また排出物遵法管理システム(電子マニフェスト)のメール機能を活用し、当該廃棄物処理対応日時を日々確認している。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タイヤ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タイヤ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(タイヤ) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂屑)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂屑PE)(三光) (フロー図B)
523.342 t	97.46 t	357.676 t	2.51 t
523.342 t	97.46 t	357.676 t	2.51 t
－ t	－ t	－ t	2.51 t
523.342 t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
④強酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦一般廃油 （三光） （フロー図D、E）	⑦一般廃油 （新日本） （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）
53.91 t	24.39 t	57.62 t	－ t
53.91 t	24.39 t	57.62 t	0 t
－ t	－ t	57.62 t	－ t
53.91 t	24.39 t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2024年度）実績】

⑩ガラスくず (ダイカン) (フロー図E)	⑩ガラスくず (三光) (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)
－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (ダイカン) (フロー図E)	⑩ガラスくず (三光) (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)
－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2024年度）実績】

⑩ガラスくず (ダイカン) (フロー図E)	⑩ガラスくず (三光) (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)
3.67 t	0.15 t	－ t	0.1 t
3.67 t	0.15 t	0 t	0.1 t
－ t	－ t	－ t	－ t
3.67 t	－ t	－ t	0.1 t
－ t	－ t	－ t	－ t

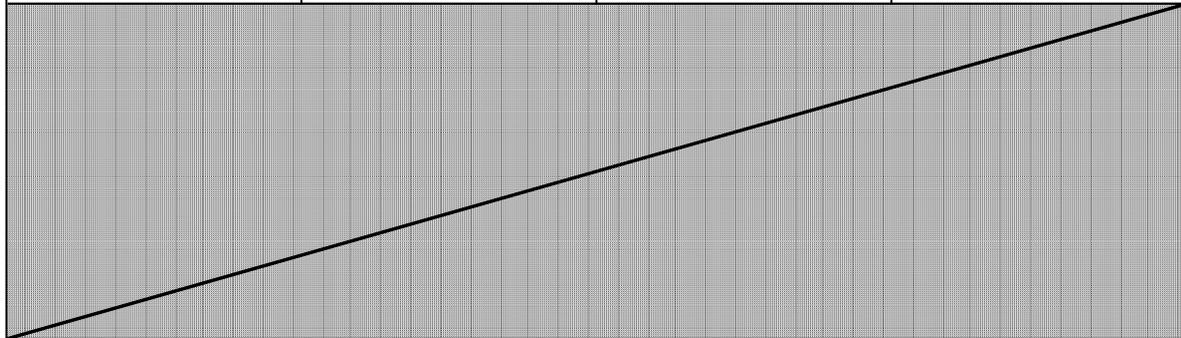
## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)	②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
②汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
8.16 t	11.78 t	15.34 t	－ t
8.16 t	11.78 t	15.34 t	0 t
－ t	11.78 t	15.34 t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

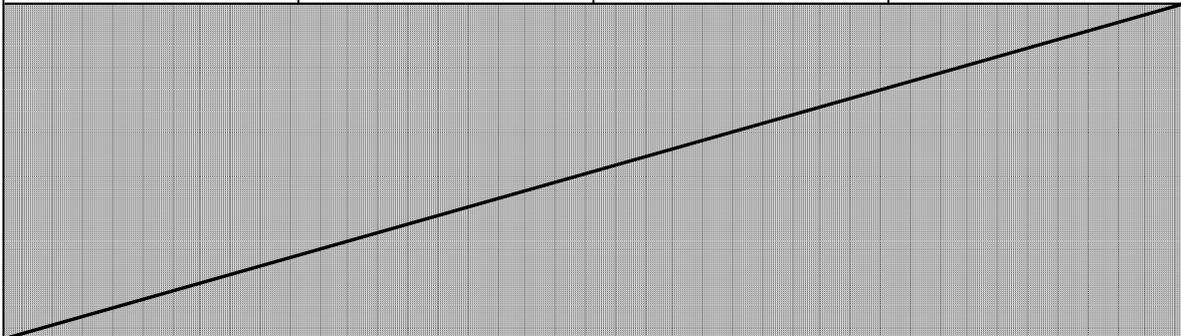
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (三重中央開発) (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (合成ゴム)(大栄) (フロー図A、D)
	全処理委託量	6.7 t	918.11 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	6.7 t	918.11 t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>継続して産業廃棄物処理、収集運搬の委託基準が遵守できる産廃処理業者に産廃処理を委託する。</p> <p>また委託処理業者に対しては、年に1回、産廃処理状況の現地確認を実施する。</p> <p>定期的に排出物遵法管理システム(電子マニフェスト)にて、産業廃棄物処理処分業許可証、収集運搬業許可証等を確認する。</p> <p>排出物遵法管理システム(電子マニフェスト)のメール機能を活用し、当該廃棄物処理対応日時を日々確認する。</p>			
※事務処理欄			

【目標】			
②廃プラスチック類 (合成ゴム)(ダイカン) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (合成ゴム)(三光) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂層)(大栄) (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂層PE)(三光) (フロー図B)
515.39 t	92.25 t	349.85 t	8.89 t
515.39 t	92.25 t	349.85 t	8.89 t
- t	- t	- t	8.89 t
515.39 t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

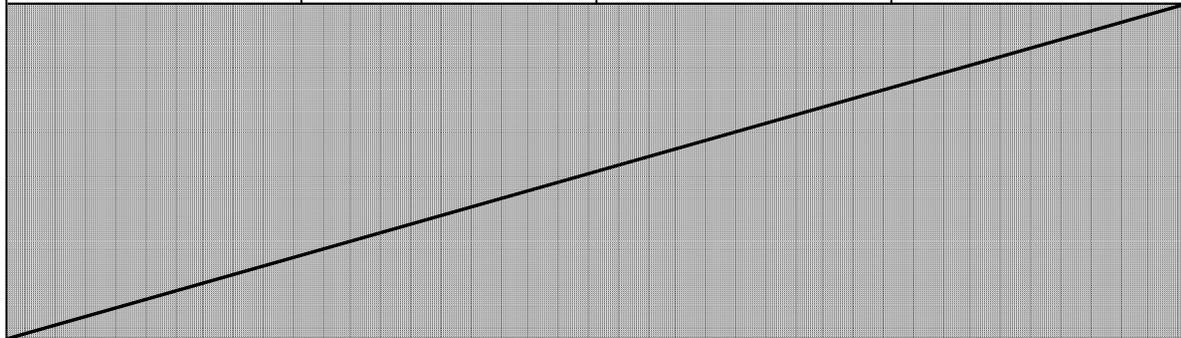
【目標】			
④強酸 (フロー図A)	⑦一般廃油 (三光) (フロー図D、E)	⑦一般廃油 (新日本) (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)
1.85 t	47.07 t	68.13 t	49.09 t
1.85 t	47.07 t	68.13 t	49.09 t
- t	- t	- t	49.09 t
1.85 t	47.07 t	68.13 t	- t
- t	- t	- t	- t



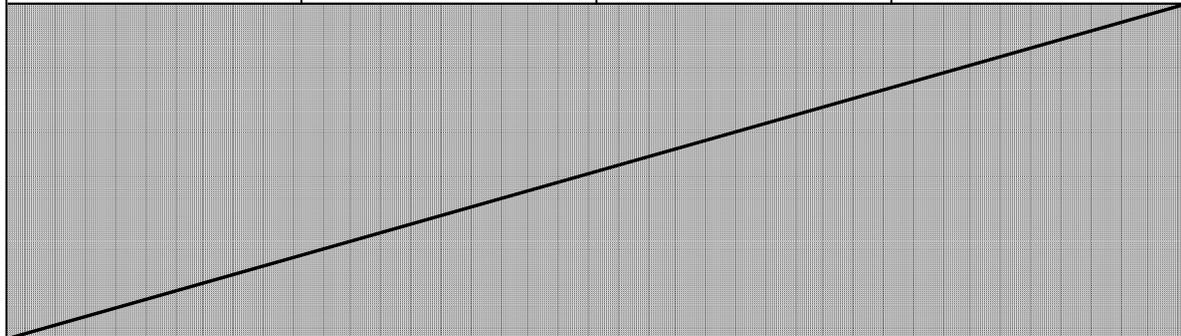
【目標】			
⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (ダイカン) (フロー図E)	⑩ガラスくず (三光) (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)
1.49 t	5.12 t	0.27 t	0.67 t
1.49 t	5.12 t	0.27 t	0.67 t
- t	- t	- t	- t
- t	5.12 t	- t	- t
- t	- t	- t	- t



【目標】			
⑫乾電池 (ダイカン) (フロー図E)	⑫汚泥 (後処理槽)(ダイセキ) (フロー図D、E)	⑬廃油 (油水槽)(ダイセキ) (フロー図E)	⑬廃油 (油水槽)(レックス) (フロー図E)
0.07 t	9.92 t	3.89 t	18.67 t
0.07 t	9.92 t	3.89 t	18.67 t
- t	- t	- t	18.70 t
0.07 t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t



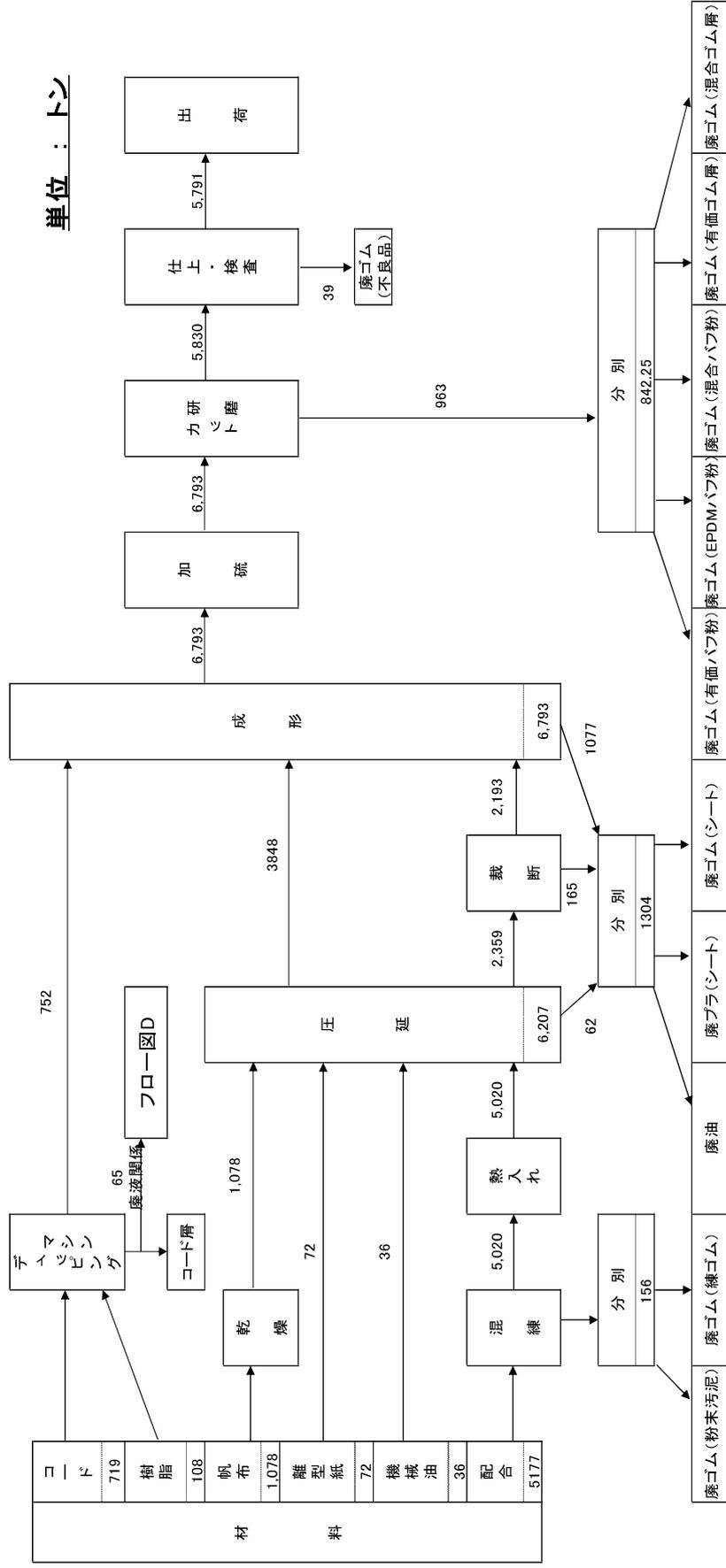
【目標】			
⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)	—		
7.99 t	— t	t	t
7.99 t	— t	t	t
— t	— t	t	t
— t	— t	t	t
— t	— t	t	t



備考

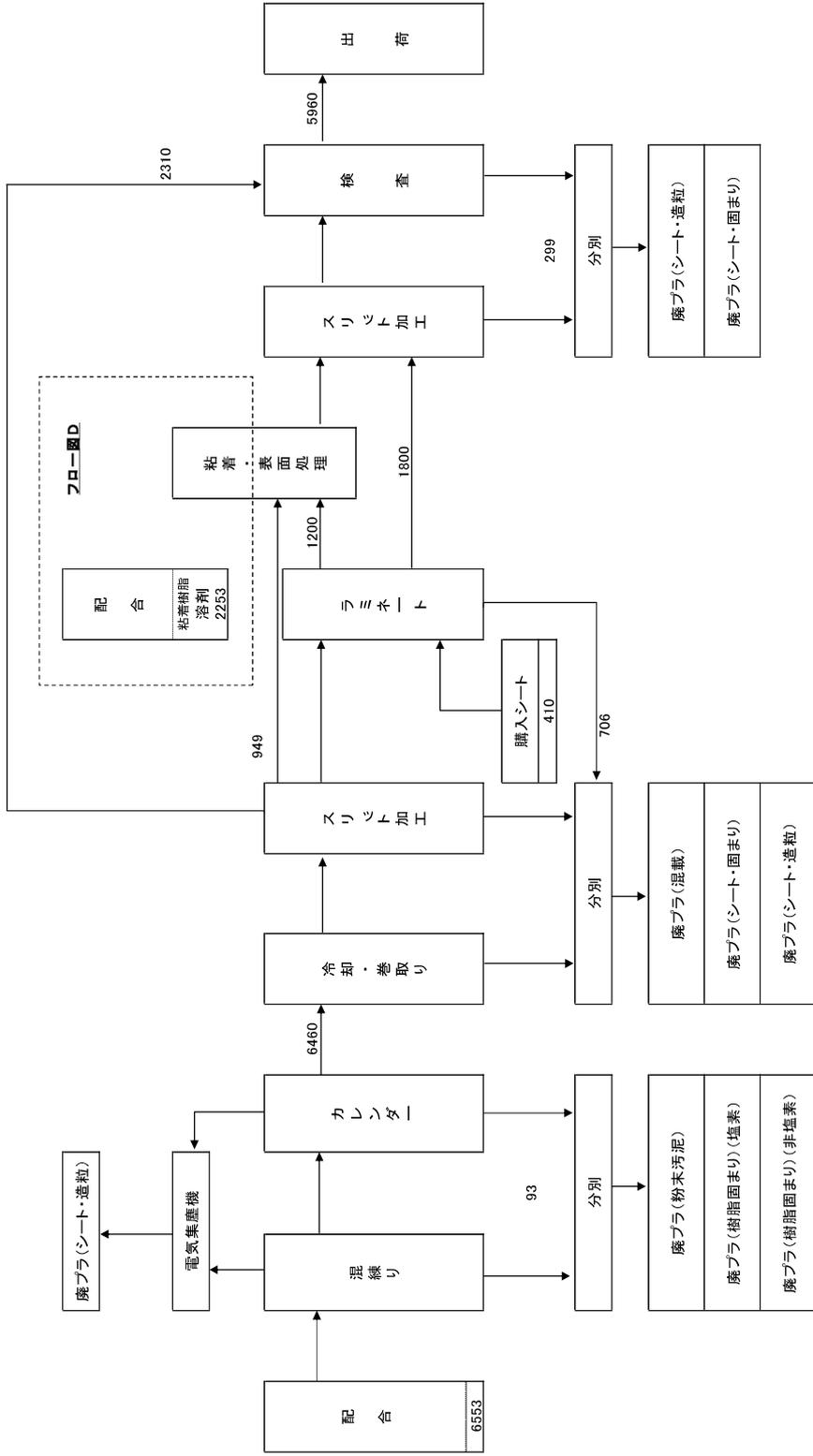
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が**1,000**トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月**30**日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 2025年4月1日～2026年3月31日

フロー図A Vベルト製造工程

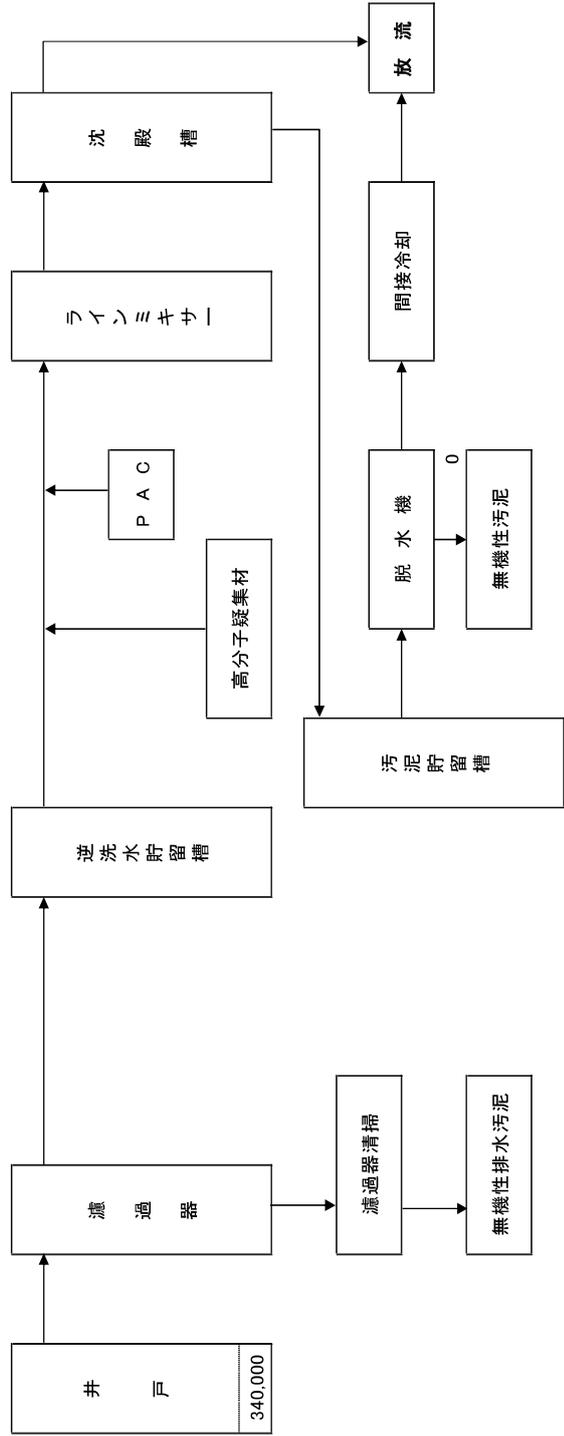


フロー図B フィルムシート製造工程

単位：トン



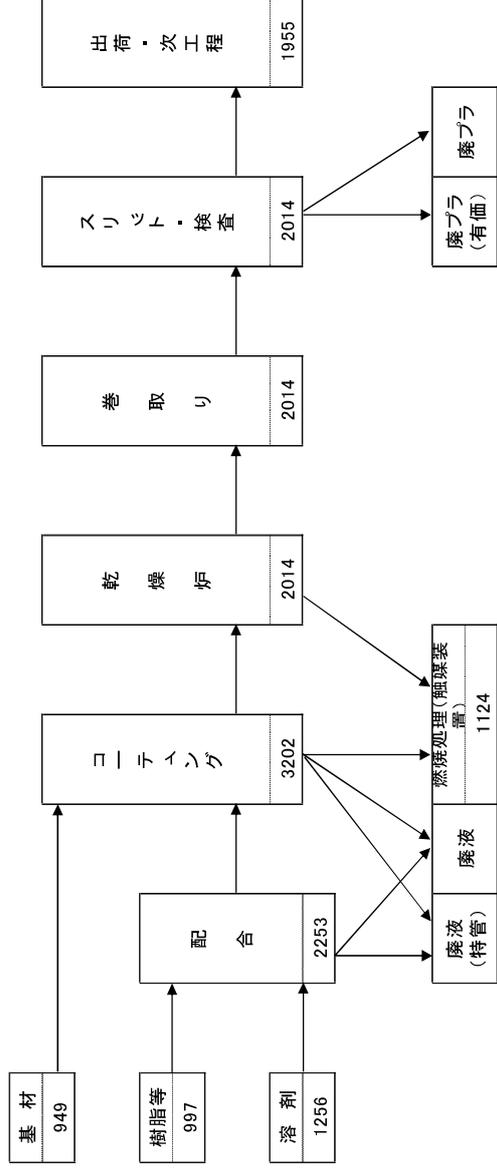
フロー図C 井水濾過器逆洗水処理フロー



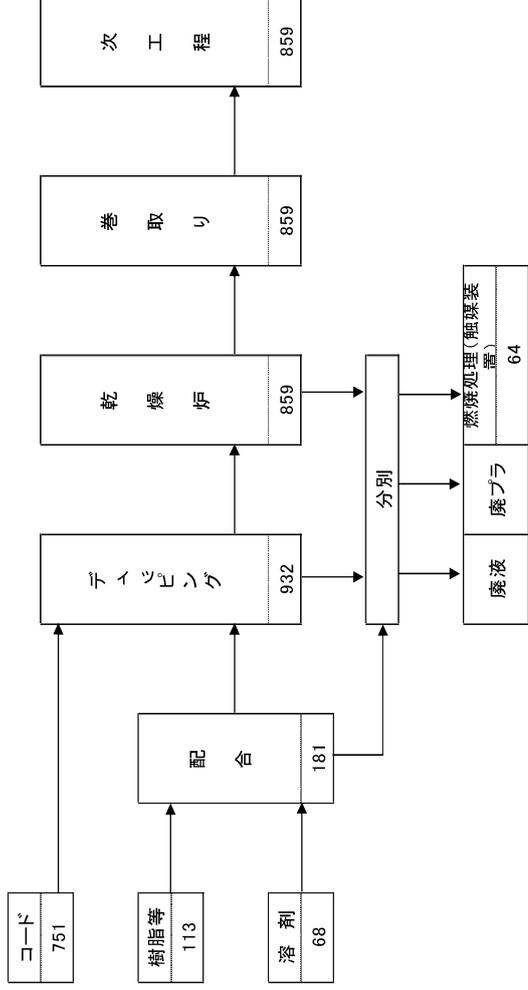
単位：トン

フロー図D 表面処理・粘着工程

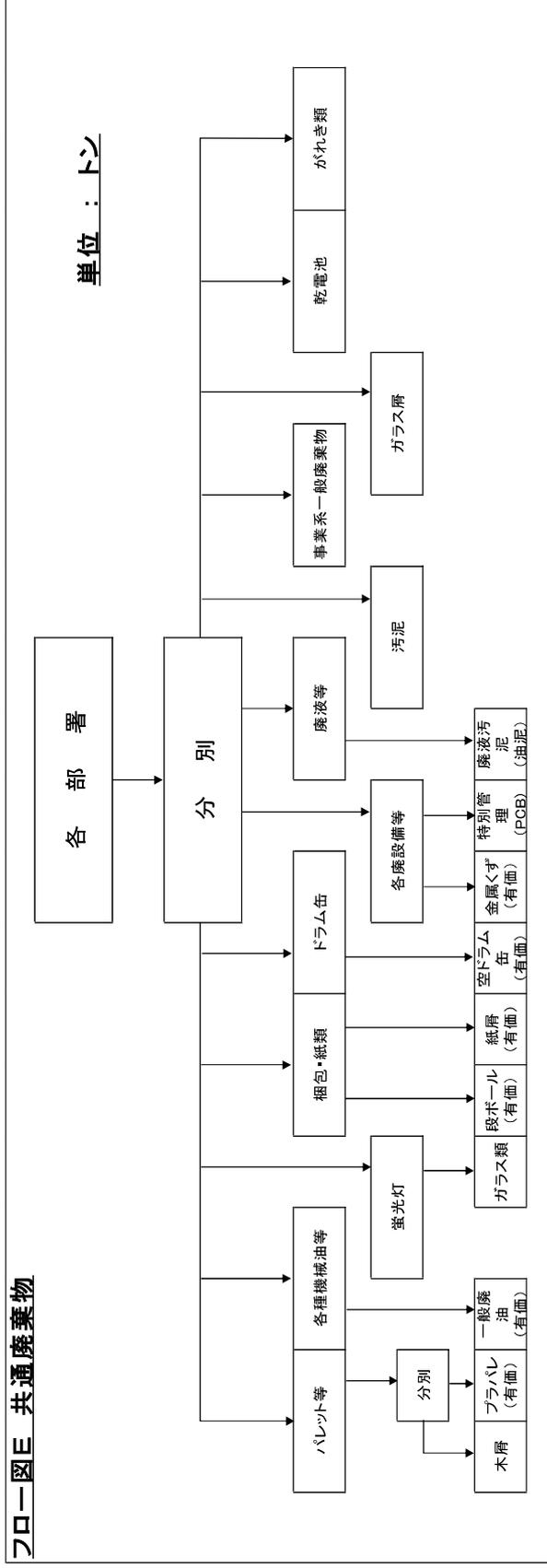
単位：トン



フロー図D ディッピング工程

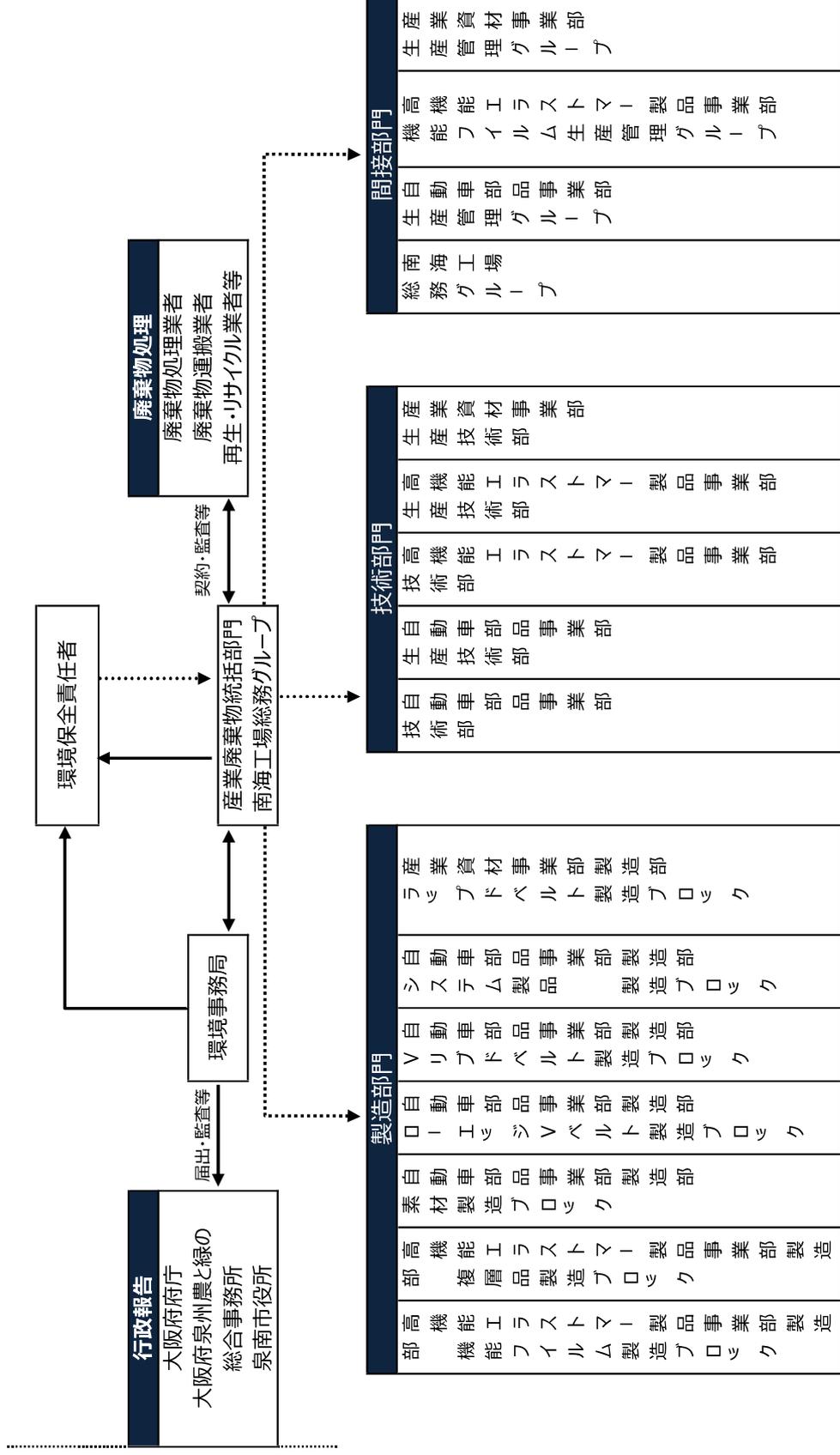


フロー図E 共通廃棄物



# 南海事業所 廃棄物管理組織図と役割

作成日：1999年9月23日  
 改正日：2025年4月1日



↑ : 報告

↔ : 相互連絡

⋯ : 指示